

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 15 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '計画的な土地利用の推進' and '都市計画総務事業'.

(1) 事務事業の概要. Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about building confirmation applications and consultation procedures.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移. Large table with multiple columns for ①手段, ②対象, ③意図 and various indicators (活動指標, 対象指標, 成果指標) across years 29, 30, 01, 02, 03.

(3) 投入量 (事業費) の推移. Table showing financial and personnel inputs for 29, 30, 01, 02, 03. Includes sub-tables for 事業費 (国庫支出金, 県支出金, etc.) and 正規職員従事人数.

事業費の内訳. Table comparing 30年度事業費実績 (千円) and 01年度事業費予算 (千円) across various categories.

(4) 当該年度の実施内容. Table with columns for 01年度, 02年度, 03年度の事業内容. Includes a note about recording content by fiscal year and a list of main activities.

事務事業名	建築基準法に基づく建築確認申請等の経由および	事務事業No.	50104000761	所属課	都市整備課
-------	------------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 県事務処理特例条例等の施行に伴ってH12年から開始された。 確認申請については、近年、民間の指定確認検査機関への申請が増加しており、特定行政庁への申請は大幅に減少している。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 申請人又はその代理人(建築士・行政書士等)から事務の簡素化や迅速化の要望が寄せられている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容
現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する最低の基準を担保することは、第2次総合計画(前期基本計画)に掲げる「快適な暮らしのまちづくり」を実現させる上で不可欠であり、政策体系との整合は図られている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 県事務処理特例条例等で市の事務事業と規定されている。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 建築基準法及び県事務処理特例条例等に基づき、適正に処理している。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 県事務処理特例条例等で市の事務事業と規定されており、廃止できない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 県事務処理特例条例等で市の事務事業と規定されており、他に手段がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 主な経費は、職員の人件費であるが、一定の裁量が伴うため、市職員以外での対応は難しく、削減余地は小さい。 なお、事務処理件数に応じて県事務処理特例条例等に基づく交付金等が県から交付されている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 確認申請等に当たっては、県が手数料を徴収し、その一部を県事務処理特例条例等に基づき市に交付している。 したがって、受益者負担は公平・公正であると考えられる。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 本事務事業は、県事務処理特例条例等で市の事務事業と規定されているものであり、第2次総合計画(前期基本計画)に掲げる「快適な暮らしのまちづくり」を実現させる上で不可欠なものである。 なお、事務処理件数に応じて県事務処理特例条例等に基づく交付金等が県から交付されている。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑨ コスト削減優先度評価結果 -																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	---